

版元：独立行政法人労働者健康福祉機構

奈良さんぽ

奈良産業保健推進連絡事務所

〒630-8115 奈良市大宮町1-1-32

奈良交通第3ビル3F

TEL：0742-25-3100

FAX：0742-25-3101

HP <http://www.nara-sanpo.jp/>

Eメール info@nara-sanpo.jp

Vol. 14 2013年 夏号

かわら版

H7N9 A型鳥インフルエンザについて

執筆者：奈良産業保健推進連絡事務所

産業医学担当相談員 西岡久之

1. インフルエンザのタイプ

インフルエンザはウイルス感染であることはよく知られています。そのタイプは抗原性から、流行するタイプのA型とB型、単発的に発生するC型の3型に大別されます。A型ウイルスには16種類のヘマグルチニン（Hemagglutinin 通称HA）と9種類のノイラミニダーゼ（Neuraminidase 通称NA）という表面抗原があり、この組み合わせにより、さらに、多数の亜系に細分されます。HAがタイプ7のA型（通常、鳥の間で認められる）だけでも144種類の亜型があるとされています。

最近話題になっているH7N9鳥インフルエンザウイルスは、HAがタイプ7、NAがタイプ9というA型インフルエンザウイルスということです。

2. H7N9 A型鳥インフルエンザウイルスの発見

原則的に、インフルエンザウイルスは、ヒトと鳥、鳥とブタのような異種間では感染しませんが、H7N2、H7N3 および H7N7 インフルエンザウイルスは時折ヒトへの感染が発見されてきました。しかし、H7N9ウイルスのヒトへの感染は、2013年2月19日の上海の報告が世界初とされ、Kwok-Yung Yuenら（中国）が医学誌、ランセット（電子版）に発表しています（4月25日）。

3. 感染経路

このH7N9インフルエンザウイルスは、鳥類に感染したH7N?とH?N9とH9N2の3種類のウイルスが交雑してできた新種のインフルエンザウイルスということが遺伝子分析からわかっています。ヒトへの感染経路は、鳥からヒトへ直接感染した可能性は低いとされ、現時点では未だ不明です（人への感染は、生きた家禽（かきん）または汚染した環境が関係していると考えられている）。

H7N9インフルエンザ確定症例の接触者（2千人以上）の監視と検査を行ったところ、感染者はほとんど見つからず、H7N9インフルエンザウイルスのヒトからヒトへの感染は、確実なものではありません。しかし、可能性は否定できず、鳥インフルエンザウイルスの中で、ヒトへの適応性を高

めていることは明らかであり、パンデミックを起こす可能性も否定はできません。

さらに、H7N9 インフルエンザウイルスは、遺伝子の分析から、最も致死性の高いウイルスの1つであり、2003年以降に数百人が死亡したH5N1 インフルエンザウイルスよりも感染しやすいと世界保健機関（WHO）は警告しています。

4. 症状と合併症

H7N9 インフルエンザの症状は、軽症なものから全身症状を伴う肺炎まで様々ですが、重篤な合併症である急性呼吸窮迫症候群（ARDS）が約半数に認められたと N Engl J Med （2013. 4. 24 online first、DOI : 10.1056）に報告されています。

5. 予防・診断・治療

①予防

なんといっても予防が最も大切です。基本的な衛生管理である、手指衛生や咳エチケットと食品安全対策です。今回は、手指衛生と咳エチケットについて述べます。

手指衛生：

食事を用意する前、用意している間、食べる前、食べた後、トイレを使用した後、動物の排泄物処理など世話をした後、手が汚れている時、家人が病気になりお世話をする時等には、衛生的な手洗いをしましょう。特に、肉眼的に手が汚れている場合には、石けんと流水でしっかり手洗いをします。肉眼的に汚れていない場合は、石鹸と水、あるいは、アルコール製剤のクリーナーで手洗いをします。

咳エチケット：

咳やくしゃみが出る時には、医療用マスク、ティッシュペーパー、服の袖等を使うか、曲げた肘で口と鼻を覆うことが重要です。

ティッシュペーパーは咳やくしゃみの後、直ちに、蓋を閉じることの出来る容器に捨てましょう。気道分泌物に接触した際は、衛生的な手洗いを行いましょう。

②診断

現在のところ、迅速診断キットの有効性は示されておらず、核酸検出、血清学的検査、ウイルス分離により診断します。

③治療

治療は、アマンタジンやリマンタジンは無効であるが、ノイラミニダーゼ阻害剤（タミフル、リレンザ、ラピアクタ、イナビル）が有効であるとされ、早期診断・早期治療により重症例が減少するものと考えられています。

【参考資料】

国立感染症研究所・感染症疫学センター翻訳

世界保健機関(WHO)による鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスの人への感染に関するリスクアセスメント(2013年5月10日版)

など

産業保健相談員相談日のご案内

奈良産業保健推進連絡事務所では、産業保健及びメンタルヘルスに関する様々な問題について、専門スタッフがご相談に応じ、解決方法を助言いたします。

相談方法	申込方法	備考
来所（面談）	予約制	相談員の勤務日をご覧ください、事前にお申込み下さい。
電話	0742-25-3100	9時～17時
FAX	0742-25-3101	24時間受付
メール	info@nara-sanpo.jp <small>（HPからの受付もできます）</small>	24時間受付

※24時間受付の場合でも、回答は開所時間内とさせていただきます。

- 相談は無料です。
- 相談内容に関する秘密は厳守いたします
- どの相談員に相談してよいかわからない場合は、事務局までご相談ください。
- 担当する相談員は常勤ではありませんので、回答までに時間を要することがあります。
- ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

6～8月 相談スケジュール

※ 都合により変更することがあります

※ 勤務時間等詳細は事務局までお問い合わせください。

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
/	/	/	/	/	/	/
2	3	4 西岡	5	6	7 上坂	8
/	/	/	伊東	/	仲田	/
9	10	11	12	13	14	15
/	/	/	伊藤	橋戸	仲田	/
16	17 畠山	18	19	20	21	22
/	/	/	/	/	仲田	/
23/30	24	25	26	27	28	29
/	/	井上	/	/	鴻池	/
/	/	/	伊藤	橋戸	仲田	/

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
/	/	西岡	/	/	/	/
/	/	/	伊東	/	仲田	/
7	8	9	10	11	12	13
/	/	上坂	/	/	/	/
/	/	/	伊藤	橋戸	仲田	/
14	15	16	17	18	19	20
/	/	井上	/	竹村	/	/
/	/	/	/	/	仲田	/
21	22	23	24	25	26	27
/	/	/	/	/	鴻池	/
/	/	/	伊藤	橋戸	仲田	/
28	29	30	31			
/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	伊東	/	/	/

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	仲田	/
4	5	6	7	8	9	10
/	/	西岡	/	/	/	/
/	/	/	伊藤	橋戸	仲田	/
11	12	13	14	15	16	17
/	/	/	/	/	/	/
/	/	/	/	/	仲田	/
18	19	20	21	22	23	24
/	/	井上	/	/	/	/
/	/	/	伊藤	/	仲田	/
25	26	27	28	29	30	31
/	畠山	/	/	/	鴻池	/
/	/	/	伊東	橋戸	仲田	/

地域産業保健センターのご案内

地域産業保健センターは、労働基準監督署の管轄区域ごとに1箇所ずつ設置され、産業医選任義務のない従業員50人未満の職場の事業者や従業員の皆様に対して、医師・保健師などが健康相談や保健指導のサービスなどを無料で行なっております。

- 北和地域産業保健センター 奈良市柏木町 519-7 Tel.0742-33-5235
- 葛城地域産業保健センター 大和高田市大中 106-2 高田経済会館内
Tel.0745-23-2431
- 桜井地域産業保健センター 桜井市大字金屋 136-1 桜井保健会館内
Tel.0744-43-8766
- 南和地域産業保健センター 吉野郡吉野町上市 133 吉野町中央公民館
吉野郡医師会内 Tel.0746-34-2353

連絡事務所からのお知らせ

- 奈良産業保健推進連絡事務所では、厚生労働省から委託を受け「メンタルヘルス対策支援センター」を設置し、メンタルヘルス不調の予防から職場復帰支援まで職場におけるメンタルヘルス対策についての総合支援窓口を開設しています。精神科医・カウンセラー（臨床心理士）等による窓口相談、産業カウンセラー・社会保険労務士等のメンタルヘルス対策促進員による事業場に出向いての情報提供やアドバイス（個別支援）等を実施しています。

例)

- 従業員の心の健康対策への取組方法がわからない。
- 心の健康づくり計画はどのようにつくればよいのか。
- 職場復帰支援プログラムはどのようにつくればよいのか。
- 社内スタッフや従業員への教育・研修はどうしたらよいのか。

詳細につきましては、当事務所のホームページをご覧ください。

- ※ 当事務所のホームページには、産業保健に関する情報、メンタルヘルス対策に関する情報が満載です。ぜひアクセスを！
- ※ メールマガジンへの登録をお願いします。メールマガジンを月に1度発信しています。研修会の開催案内、行政情報等産業保健に役立つ情報をお届けしています。

◆かわら版についてのご意見、お問い合わせは下記へご連絡下さい◆

〒630-8115 奈良市大宮町1丁目1番32号 奈良交通第3ビル3階

独立行政法人労働者健康福祉機構 奈良産業保健推進連絡事務所

電話：0742-25-3100 F A X：0742-25-3101

Eメール：info@nara-sanpo.jp